

令和元年 12月定例会

福井県議会だより

第27号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



定例会の概要

12月定例会は、11月28日に開会し、12月20日までの23日間にわたって審議を行いました。

開会日には、「議員表彰決議案」が可決され、福井県議会議員表彰規程に基づき、1名の議員が表彰を受けました。

また、9月定例会から継続審査となっていた平成30年度決算の認定にかかる2件の議案について、閉会中の予算決算特別委員会における審査の結果が報告され、原案のとおり認定するとともに、条例改正案1件について可決しました。

開会日の本会議終了後には、全員協議会を開催し、高浜町元助役との関係にかかる調査結果および知事から提出された補正予算案を初め22件の議案の説明を受け、質疑を行いました。

今定例会では、長期ビジョン、人口減少対策、恐竜博物館の増改築、災害対策、CSF（豚コレラ）対策、金品受領問題など広範囲にわたり議論が行われました。

福井県長期ビジョンに関する特別委員会では、「とんがろう、ふくい」をコンセプトとする中間とりまとめ案に対し、とんがった将来構想となるよう目玉となるプロジェクトを盛り込むことを指摘しました。

このような審議を経て、閉会日に追加上程された公安委員会委員の任命同意に係る議案を含め、計23議案に可決または同意するとともに、「地域の実情を踏まえた公立・公的病院のあり方に関する意見書案」と、請願8件についてもそれぞれ採決を行い、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

議員対談

先輩議員にインタビュー

1期議員が先輩議員から議員としての生涯・信条等を聞く「議員対談」。第3回の先輩議員は関孝治議員、聞き手は野田哲生議員、兼井大議員です。



野田議員：まず、関議員が政治の道に進もうとしたきっかけを教えてください。

関議員：父が県議会議員で、昭和62年4月に4期目当選をした。久しぶりに大阪から帰って来た弟と酒を飲みながら昔話をしていたときに、突然倒れ、亡くなってしまった。
当時は1人区で、50日以内に選挙が行われることになり、立候補したところ当選した。

野田議員：30年におよぶ議員活動を通して、特に力を入れてきた分野はありますか。

関議員：議員になった頃は、原子力発電所を造る時代だった。また、新幹線の整備促進には、ずっと関わってきた。

野田議員：議員活動の中で、特に印象に残っていることを教えてください。

関議員：派閥のことで、しょっちゅう分かれたり、くつついたりしていたこと。

兼井議員：福井県は戦後、繊維産業や伝統工芸などのモノづくりで発展してきました。今後は、どのような道を進むべきと考えていますか。

関議員：議員になった頃は、もう繊維は傾いていた。越前和紙や眼鏡も売上げは減っている。その中で機械の大手が武生に来て、給料が高いので、若者は、そのような工場に行ってしまう。越前市の工業出荷額は、県で1番である。しかし、何が残るのか。そこから派生して産業が広がれば良いが。

兼井議員：奥越からも若い人たちが、武生の工場に勤めています。人口減少については、どうお考えですか。

関議員：これは難しい。児童手当を増やしても、その額に比例して子供が増えることにはならないだろう。人口に合った街をつくっていくべき。

野田議員：我々1期生に、アドバイスをお願いします。

関議員：なんでもやるというのは、範囲が広すぎて不可能である。得意分野をつくって、「これだけは、どんと来い」ということがあった方が良い。「あの人に聞くと良い。」ということも出てくる。





審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

県会自民党 畑 孝幸 議員



長期ビジョン・人口減少対策戦略について

- ・人口減少下における過疎地域や小規模市町における行政サービスのあり方について、具体的にどのような方向性で検討を進めているのか、知事の所見を伺う。
- ・これまでの自然減対策のどこに課題があったのか伺うとともに、出生率回復の起爆剤となるような対策を、長期ビジョンや人口減少対策戦略に位置づけるべきと考えるが、知事の所見を伺う。

県会自民党 長田 光広 議員



恐竜博物館の機能強化について

- ・全体事業費約94億円で得られる投資効果や事業効果、回遊性の向上策について伺うとともに、今後の維持管理費等の負担軽減策について、所見を伺う。

観光行政について

- ・現行の観光戦略の総括について伺うとともに、新たな観光戦略と北陸新幹線開業対策加速化プランとの関係性をどのように位置づけ、どういった戦略にしようと考えているのか、所見を伺う。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



知事の政治姿勢について

- ・長期ビジョンと、以前県において策定された「ふくい21世紀ビジョン」との相違点を伺うとともに、5年間の実行プランに位置づけられる政策について、福井らしい政策への重点化と予算の裏付けによる実効性の確保について、知事の所見を伺う。
- ・知事としての初めての当初予算編成に当たり、徹底現場主義において体感した福井県の強みと弱みをどう認識し、どのような政策に重点を置いて編成作業に臨むのか、伺う。

◆福井県議会テレビ広報番組のお知らせ

『教えて!県議会～常任委員会に密着～』

総務教育常任委員会と厚生常任委員会の県内視察や12月定例会での委員会審議の様態等を紹介した番組を放送しました。福井県議会ホームページのトップページの「議会広報」「広報案内」からご覧いただけます。(期間:令和2年2月19日まで)

◇総務教育常任委員会

〈県内視察〉

福井県立大学生物資源開発研究センター、
福井県教育博物館 他



◇厚生常任委員会

〈県内視察〉

関西電力(株)美浜発電所、
児童養護施設「一陽」



◇1期議員4名が 福井国体ソフトボール 成年女子3位 入賞チームに挑戦

成年女子チームのエースは、速く、重く、素晴らしい球を投げます。さて、勝負はどちらに軍配が上がったのでしょうか。ぜひご覧ください。

一般質問 (要旨)

公明党 西本 恵一 議員



- ・子育て支援について
- ・県都活性化について
- ・新たな観光戦略の骨子案について

10月から始まった幼児教育保育無償化について実態調査から課題を質問。

県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・犯罪被害者支援について
- ・恐竜博物館について
- ・教育パートナーシップについて
- ・小松空港国際化推進について

日々の政治活動の中で伺っていることを糧に質問させていただきました!

民主・みらい 辻 一憲 議員



- ・中国、タイとの青少年・経済交流
- ・社会的養育
- ・定時制通信制教育と外国人児童支援
- ・CSF(豚コレラ)対策
- ・高浜町元助役関係調査委員会の報告書
- ・職員倫理規程

県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・恐竜博物館について
- ・福井の未来について
- ・嶺南地域への自衛隊の部隊配置について
- ・鳥獣害対策について

鳥獣害対策として、駆除の業者委託を検討していただくことになりました。

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・医療的ケア児の現状と課題について
- ・災害弱者への対応について
- ・教育行政について

しっかりした現状把握をもとに、先を見通した施策の大切さを感じます。

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・県民に怒り広がる!
関西電力原発還流マネー問題と福井県政
- ・福井市の街こわしになりかねない福井駅前での大規模再開発事業問題
- ・市町の成年後見制度の取り組みに県の積極的なサポートを

県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・長期ビジョンについて
- ・嶺南エネルギー・コスト計画案について
- ・台風被害対策について

福井の将来を見据え、技術特化型の社会の実現について質問いたしました!

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・県都玄関口の起爆剤と再開発について
- ・ヘルプマークについて
- ・原発再稼働地元同意について

TV枠で緊張感ありましたが経験を積んで濃い答弁を引き出すよう頑張ります。

県会自民党 兼井 大 議員



- ・観光行政について
- ・森林・河川環境の保全について
- ・教育行政について
- ・広域的な公共交通について

「新たな観光戦略」稼ぐ力の向上には「狙うべき顧客層」を明確にすべき。

県会自民党 山本 建 議員



- ・並行在来線の特急存続について
- ・公共施設等の適正管理について
- ・違法薬物について
- ・高齢者の免許返納について

県民の皆様の利便性、生活の安心、安全に向けて今後も取組んで参ります。

無所属 細川 かをり 議員



- ・CSF(豚コレラ)への対応について
- ・HPV検査(子宮頸がん検査)について
- ・金品受領問題、県の信頼回復のために

豚の埋設地の適正を質し、今後の管理をしっかりとるよう求めました。

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・教育について
- ・水害対策について
- ・社会的養護について
- ・ワクワク ドキドキ イベント開催を

教員の働き方改革については、子供たちのためにも粘り強く取り組みます。

予算決算特別委員会 (要旨)

県会自民党 清水 智信 議員



- ・長期ビジョン
(1) 妊活と仕事の両立について
(2) 不妊・不育症相談センター設立について
- ・地域スポーツコミッションについて

越前海岸を活用した自転車コースや妊活と仕事の両立支援制度を提言しました。

県会自民党 宮本 俊 議員



- ・社会的養育推進について
- ・映画・ドラマ誘致について

映画「おしよりん」が県民に親しまれ、観光の目玉となることを祈っています。

県会自民党 仲倉 典克 議員



- ・福井県にプロスポーツの誕生を
- ・森林の将来について

中長期的視点を持ちながらも今やるべきことを見極めて対応する事が大切。

県会自民党 西本 正俊 議員



- ・防災・減災について
- ・嶺南エネルギー・コースト計画について

嶺南エネルギー・コースト計画に関して、廃炉ビジネスの在り方を質疑しました。

県会自民党 田村 康夫 議員



- ・知事の政治姿勢について
- ・防犯隊について
- ・民生委員について

県会自民党 松田 泰典 議員



- 県政全般について
- ・知事の政治姿勢について
- ・長期ビジョンにおける人口減少対策について
- ・恐竜博物館について
- ・嶺南エネルギー・コースト計画について

予算決算特別委員会では、細川 かをり 議員、長田 光広 議員、西畑 知佐代 議員、辻 一憲 議員も質問をしています。

代表質問、一般質問をした議員は、この欄には掲載しませんが、審議の様子は、YouTubeでご覧になれます。



代表質問、一般質問および特別委員会の審議の様子は YouTubeをご覧ください

議会からのお知らせ

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています(代表質問および一般質問)。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前(土・日・祝日を除く)の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】 議会局議事調査課 傍聴担当
電話 0776-20-0609

*日程は、変更になる場合があります。福井県議会ホームページでご確認ください。

◆2月定例会 会期日程

2月18日(火)	開会
2月21日(金)	代表質問
2月26日(水)・27日(木)	一般質問
3月 2日(月)	常任委員会(総務教育・産業)
3月 3日(火)	常任委員会(4委員会)
3月 4日(水)	常任委員会(厚生・土木警察)
3月 5日(木)	福井県長期ビジョンに関する特別委員会
3月10日(火)・11日(水)	予算決算特別委員会
3月16日(月)	閉会

「福井県議会ホームページ」をリニューアルしました。併せて、URLも変わりました。
変更前 <http://info.pref.fukui.lg.jp/gikai/youkoso.html> → 変更後 <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>

常任委員会

総務教育常任委員会

12月定例会では、本委員会に付託された「福井県手数料徴収条例の一部改正について」、「指定管理者の指定について」などの4議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決された。

また、付託された請願については、「国に対し消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める請願」など4件あり、慎重に審査を行った結果、いずれも不採択と決定した。

所管事務の調査では、福井県教育振興基本計画(素案)に関して、今後5年間に取り組む施策の内容等についてたまたした。このほか、「知事公舎の利活用」、「嶺南エネルギー・コースト計画(仮称)骨子(案)」等について質問があり、対応等が示された。



福井県教育振興基本計画(素案)(学校体育の充実)

厚生常任委員会

12月定例会では、本委員会に付託された「老朽原発再稼働中止の意見書提出等を求める請願」「虐待の問題を抱えている子どもたちや家庭に対する支援体制の充実に関する請願」について、慎重に審査を行った結果、いずれも不採択と決定した。

また、所管事務の調査について、安全環境部関係では、台風19号の状況等から「防災対策」や「災害ごみの処理」などについてたまたした。そのほか「産業廃棄物処理公社」等について質問があり、対応等が示された。

健康福祉部関係では、「福井県子ども・子育て支援計画の骨子(案)」「福井県社会的養育推進計画の骨子(案)」「福井県医師確保計画の骨子(案)」等について質問があり、対応等が示された。



所管事務の調査の様子

産業常任委員会

12月定例会では、本委員会に付託された「一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)展示工事請負契約の締結について」の議案について、慎重に審査を行った結果、原案どおり可決された。

また、所管事務の調査では、恐竜博物館の機能強化に関して、



一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)の外観イメージ

「将来的な収支採算性の見込み」、「県産材の活用と県内企業への優先的な発注」、「増改築に伴う経済効果の県内全体への波及」などについてたまたした。このほか、「県内企業の人材確保」、「農林水産物の輸出の今後の展開」、「第2次いちほまれブランド化戦略における明確な目標設定」、「県産材の流通コストに対する継続的な支援」等の質問があり、対応等が示された。

土木警察常任委員会

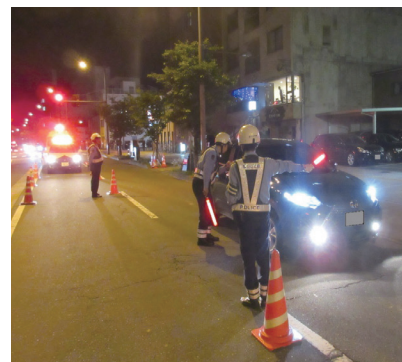
12月定例会では、本委員会に付託された「一乗谷朝倉氏遺跡博物館(仮称)建築工事請負契約の締結について」などの10議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決された。

また、「関電原発にかかわる不正資金還流の真相究明を求める請願」があり、慎重に審査を行った結果、不採択と決定した。

所管事務の調査について、公安

委員会関係では、「人口10万人当たりの交通事故死者数全国ワースト1位からの改善」等について質問があり、対応等が示された。

また、土木部関係では、「福井駅前電車通り北地区A街区第一種市街地再開発事業」等について質問があり、対応等が示された。



検問の様子



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

12月定例会では、本委員会に付託された「令和元年度福井県一般会計補正予算(第5号)」などの7議案について、慎重に審議を行った結果、原案どおり可決すべきものと決定した。そのほか、審査の過程において論及のあった主な内容は、次のとおりである。

福井県長期ビジョン、人口減少対策

3人っ子応援プロジェクトを第2子まで拡充するとの代表質問での答弁について、所得制限や開始時期、無料の内容の市町との協議状況等を尋ねる質問に対し、「市町の実情を聞き、まずは2割程度を対象とし、その後2年間で受け皿を整備し、7~8割に広げていきたいと話している。調整は進んでおり、市町と歩調を合わせ子育て支援の拡充を図っていきたい」との見解が示された。

恐竜博物館の機能強化

機能強化に向けた施設整備等の狙いと事業効果、将来像についての質問に対し、「恐竜学研究的拠点、情報発信の基地としての磨き上げにより、注目度の向上、来館者の増加につながる。来館者の分散と快適性の向上、恐竜列車やホテル等により経済効果を広げ、県全体の経済活動の活発化を目指す」との見解が示され、これに対し、経済波及効果や維持管理費について2月議会で案を示してほしいとの要望が述べられた。

災害対策

県管理ダムの放流のマニュアル作成状況と河川改修による緊急放流のタイミングの見直しについての質問に対し、「放流量等を定めた規則等は供用開始前に作成し河川改修等により変更しているが、緊急放流はダム本体の安全性から判断され、タイミングを定める規定は河川改修等による変更は行っていない」との見解が示された。



県管理の河内川ダム

その他

嶺南エネルギー・コースト計画、里親委託率、高浜町元助役からの金品受領問題、プロスポーツ、スポーツツーリズム、映画・ドラマの誘致、防犯隊、災害ボランティア活動、林業など広範多岐にわたり、それぞれ理事者の見解と対応をたじた。



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

福井県長期ビジョンに関する特別委員会

本委員会の調査事項である「福井県長期ビジョン」の策定に関すること、「ふくい創生・人口減少対策戦略」の策定に関することについて調査を行った。

今回示された「福井県長期ビジョン」の中間とりまとめ案について説明の後、委員から質疑や提言がなされた。

委員の発言の主なものについては、以下のとおりである。

将来構想

- ・地域がなくなるかもしれないと感じている県民の不安を解消し、福井で生きていこう、子どもを呼び戻そうと思える案になっていない、もっと踏み込んだ内容にすべき。
- ・福井市を中心とする連携中枢都市圏とビジョンとの整合性はとれているのか。

実行プラン

- ・コンセプトである「とんがりう、ふくい」、果たして、これで「とんがれる」のか。
- ・ワクワク・ドキドキするものが一つもない。福井で本

当にこんなことができるのか! というものが一つぐらいないといけない。

- ・目玉がないから「とんがって」見えない。県がリスクをとって夢があると思えるものを考えてほしい。
- ・「将来構想」で掲げられた課題を実行プランに落とし込んだ時に、薄まらないように、また、含みを持たせたような記載にならないようにしてほしい。
- ・港湾計画やエネルギー・コースト計画などの個別計画は、福井県の情勢に合わせて整合性をはかり、プランに落とし込むべき。



人口減少に関する研修の様子

特集 議決対象とする行政計画の拡大

12月定例会において、「福井県行政に係る基本的な計画について議会の議決事件と定める条例」を議員提案により改正し、議決対象とする行政計画を拡大しました。

【条例改正の内容】

総合計画だけではなく、特定部門に関する計画（個別計画）であっても、県政の方向性を左右する重要なものについては、議決対象とする。

議決対象とする計画[改正後]

	議決対象とする計画の定義	対象計画(仮称含む)
総合計画	県行政全般に係る政策の基本的な方向を総合的かつ体系的に定める計画	「福井県長期ビジョン」 (実行プランを含む)
拡大 個別計画	県行政の各分野における政策の基本的な方向を体系的に定める計画のうち、当該計画の推進に当たり部局横断的な取組みが必要なものであって、県政運営上特に重要なものとして議会が認めるもの	「行財政改革アクションプラン」 「ふくい創生・人口減少対策戦略」

～ 対象計画の概要 ～

令和元年12月13日
「福井県長期ビジョンに係る特別委員会」配布資料より

第2期「ふくい創生・人口減少対策戦略」

1 基本的考え方

「福井県長期ビジョン」の理念に沿って、福井の将来を担う次世代を育成することこそが、超高齢化社会に備えた最重要施策である。将来世代のために今何ができるかを最優先に検討・実行していく。

中長期的に「社会減ゼロ」
「合計特殊出生率2.07」を目指す

▶ 2040年の推計人口68万人

2 第2期戦略の体系

- 希望が叶う結婚・出産・子育て応援の強化
 - ・若い世代の出会いの応援強化
 - ・日本一の子育て応援社会の環境づくり
- 県内定着・Uターン拡大
 - ・県内進学、就職の促進
 - ・都市部における移住政策
- 若者に魅力ある仕事の創出
 - ・魅力的な仕事づくりと地域産業を担う人材育成
- 持続可能な社会の実現
 - ・「全員参加型」の共生社会づくり

議決対象となる計画以外にも、議会では、各部局が策定する計画について審議しており、その資料は、福井県議会ホームページのトップページ「議会の動き」→「委員会の活動状況」→「令和元年度(2019年度)」→各常任委員会でご覧になれます。

★福井県議会だより第26号 6ページ「厚生常任委員会」の写真掲載に誤りがありました。お詫び申し上げます。

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見をお願いいたします。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

令和2年2月5日発行